

# ひまわり



令和3年5月7日(金)

## 陰徳を積む

花を支える枝  
枝を支える幹  
幹を支える根  
土の中を見えない根  
見返りを求めず  
陰の徳つみが  
あなたを支える  
見えない根となります

いつもお参りに来られるお坊さんが、読経（どきょう）の後に説法（せっぽう）をしてくださいます。ある時、人として生まれた限りは、人知れず人や社会のために尽くすことが大切だ、とおっしゃっていました。

「困っている人に救いの手をさしのべる」「病に伏す人のために陰ながら回復を祈る」「道に空き缶が落ちていれば、つまずいて誰かが怪我をしないように道の端によける」など、日常生活の中でできることはたくさんあるでしょう。

このような行いを「陰徳（いんとく）を積む」といいます。

見返りを期待して良い行いをするわけではありません。しかし、陰徳を積むことで、自分にも良い結果が返ってくるといいます。裏を返せば、人に意地悪をするなどの行いは、してはならないという教えだとも聞きました。

出勤途中にある掲示板に、上に示す文が丁寧な文字で墨書されていました。書かれている内容が変わる度に読ませていただき、いつも心が洗われます。

文中の「陰の徳つみ」とは、先に書いた「陰徳を積む」ということです。

皆さんはこの文章を読んで、どのように感じますか。ややもすれば、自分さえ良ければ、という利己主義が見え隠れする今の時代に、私たちに大切なことを気づかせてくれる文章ではないでしょうか。

### <保護者の皆様へ>

緊急事態宣言が延長されます。5月12日以降の学校園の対応については、市教委からの通知が届きしだい、お子様を通じてご連絡させていただきます。

また、緊急の場合は、保護者メールやホームページにおいてお知らせさせていただきます。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

